

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 月 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術 (色と創造) Language and Art (Creation on color)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員:井川 惺亮 /Eメールアドレス:ikawa@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 井川研究室 /TEL:095-819-2348 /オフィシアワー: アポイントメントをお願いします。			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: もしもこの世の中に「色」がなかったとしたら、と考えたことがありますか。どうでしょうか。怖いですね。ところで、皆さんは「色」の認識はどのくらいしているのでしょうか。何も芸術家になる人たちが考えている世界ではありません。そこで、日常出会う色について関心を深め、美的センスを養うことに着目していきます。 授業方法: 机上で色紙(いろがみ)など切ったり、それを貼ったりして、造形感覚を養います。また色の三原色についても考察していきます。授業の終わりには、授業感想文を書いて提出します。 授業到達目標: 「色」について少しでも関心を寄せるようになれば、しめたものです。「色」と「形」との関係も重要な要素となりますので、それを理解してくだされば、あなたもアーティスト気分！			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 授業の主な流れは、身近の色の考察から始めます。次に色日記を作成して、私にとって色に囲まれた世界を再認識する。色の三原色について、絵の具・光・インクについて比較します。続いて私にとっての好きな「形」をデザインし、色日記と組み合わせでデザインする。そのデザインを立方体にして、インスタレーション(作品設営)を試みる。作品の鑑賞会も行います。 第1回 オリエンテーション 「色」について、まずグラデーションから 第2回 「色」について、色とは生きものだ 第3回 色日記を作成しよう！(授業開始時にトータルカラーなどの購入) 第4回 色日記の考察をする 色の三原色について 第5回 色の三原色における①絵の具、②光、③インクを見てみよう 第6回 同上 具体的に画面上に実現する 第7回 私の好きな「形」を作ろう そしてそれをデザインしよう！ 第8回 同上 具体的に画面上に実現する 第9回 同上 具体的に画面上に実現し、表現まで高める 第10回 同上 デザインを仕上げる(カラーコピーをとる)」 第11回 デザイン作品の鑑賞会。立方体を作ろう 第12回 立方体を作ろう 第13回 同上 インスタレーションについて(デジカメで撮影) 第14回 立方体作品の鑑賞会 第15回 1:レポート作成をする その上で2:デザインのカラーコピー、3:デジカメによる立体のプリントを、計3点提出			
キーワード	グラデーション、三原色、インスタレーション		
教科書・教材・参考書	トータルカラー(65色)、画用紙(8つ切りサイズ)3枚、のり、ハサミを常時各自用意		
成績評価の方法・基準等	普段の感想文提出レポートなどの提出(課題提出2点及びレポート提出1点)の計3点などと普段の感想文をも含めて、総合的に判断して評価(100%)する。		
受講要件(履修条件)	出席3分の2以上、課題提出2点及びレポート提出1点のこと		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	「色」の世界を知ることで、ものの見方や、また感覚の視野が広がってくる。具体的には、各自の身なり(カラーコーディネート)、家の自室などのインテリアなどに気を遣うようになるでしょう。		
備考(準備学習等)	普段の授業で遅れている者は、その都度、家で各自課題をこなしておくこと。常時、のり、ハサミなどを用意して授業に臨むこと。		